

3.11 東日本大震災を忘れない

大田区 & 東松島市

絆音楽祭

開催にあたって

私たち絆音楽祭実行員会は、東日本大震災発災以降、大田区と区民が協働で続けている、被災地、被災者、および、避難者の支援ボランティア活動から生まれた団体です。この活動により芽生えた大田区と東松島市の交流・友情・縁（えにし）。そして、お互いの感謝の想いが積み重なりこの音楽祭は生まれました。

① 私たち人と人が励まし合いながら絆を深める音楽交流 ② 被災地支援ボランティア活動の啓発 ③ 地域防災力向上への貢献を目的として、大田区民と東松島市民の有志たちが集い企画した素敵な音楽祭をお届けします。

大田区 & 東松島市 絆音楽祭実行委員会

出演者紹介

コスモスの会

大田区の主催事業で、肢体に障がいのある青年が仲間達とともに交流し、余暇を充実させる活動を行っている。ユニット名は「コスモスサラン」。「心をひとつに歌います。一緒にふれあいましょう!」※コスモスサランとは、韓国語で「コスモス愛」…以前ボランティアで参加していた韓国人の留学生が発端になり結成したのが由来。



齋藤 トモ子

ハーモニカとの出会い。退職後生きがいづくりのためにハーモニカ教室に通い始めたことがきっかけ。石巻市ハーモニカサークルの仲間と一緒に福祉施設の慰問活動にも取り組む。東日本大震災で自分もホームで生活することになり、その施設でハーモニカ演奏を楽しむ。「趣味なくして人生に青春は無し」との思いで今を生きる。「自分の癒しとともに地域の人たちと一緒に楽しむことができれば最高です。」



JMC

(Johnan Music Circle 城南信用金庫音楽部) 平成23年4月、金庫の部活動の一環として音楽部が創部され、様々なジャンルの「音楽好き」が集まり活動。各地で行われている東北被災地支援コンサートへの参加、地元地域で開催される音楽イベントへの参加、被災地支援チャリティコンサートの企画、開催等様々な活動を行っている。「腕前はともかく、「街を明るく、ハッピーに」をモットーに、演奏したいと思います。」



千葉栄俊とブルーフェニックス

結成45年、平均年齢は還暦超え。プロ歌手の歌伴、生オケ、社交ダンスでの演奏等、地元に着目した演歌バンド。「いつもお世話になっている大田区の皆さんに、東松島市の元気を届けにやってきました。」



日本工学院専門学校

睡蓮 With ダンスパフォーマンスクルー (特別出演)



日本体育大学荏原高等学校 《チアリーディング部》

地域のイベントや野球応援、アメフト応援と年2回の大会へ参加。現在は、全国大会出場をかけた地区予選に向けて演技の練習に取り組む。「チアリーディングには元気、勇気、笑顔というチア精神があります!絆音楽祭が多くの元気、勇気、笑顔に包まれるように私たちチアリーディング部が精一杯演技させていただきたいと思います! Let's go stones, cheer for you.」



《ダンス部》

学校行事やコンテストの他、地域のイベントなど積極的に参加し、様々な人たちとの交流を深めることを目的としている。今年創部3年目を迎え、この絆音楽祭が3度目の出演。「今年もこのステージに立つことの大切さを感じ、被災地の復興を願い演技したいと思います。」



HUDDLE (ハドル)

東松島のダンススクール(2014年9月開校)。現在の生徒は、小学生14名、中学生3名、大人7名、計24名。「ダンスしたい!踊りたい!」と思う子達が市民センターに集まり鏡がない中、ダンスのレッスン、練習に日々励む。「被災して5年が経ちますが、子どもも大人も元気に笑顔です。今回は、HUDDLE代表として、8名で参加させて頂きます。他のメンバーの分も精一杯、踊らせて頂きます。」



はまぎくレディース

東松島市野蒜地区の歌の会。「震災前も歌を歌っていましたが、震災後、絶望の日々が続き歌えなくなりましたが、大勢のボランティアが来て歌ってくれました。コンサートも開いてくれました。それからは徐々に歌う気持ちが高まり、歌が好きな仲間とついで、毎週練習しています。いまは前に進みたい気持ちと歌いたい気持ちがいっぱいです。」



東調布中学校

箏(こと)・三味線部

今年で創部15周年を迎える。「絆音楽祭にまた出演させていただき、大変うれしく思っています。今回は、指導者と同じくする三味線サークル「実音の会」のメンバーと一緒に、和の音色をお届けします。」



- 東松島市からの語り部のお話し
- 東松島市物産販売コーナー
- 大田区防災課の体験コーナー もあるよ!

とーな「くん人形
はまぎく(東名地区和物づくりの会)制作

※出演者は予告なく変更になる場合がございます。